

特別支援教育研修会 2017

乳幼児期から小学校段階の ライフサイクルを通じた発達障がい児への支援

【日時】 平成29年8月1日（13:30～16:30）

【場所】 郡上市総合文化センター 2F多目的ホール



【講師】 別府悦子 様

中部学院大学 教育学部 子ども教育学科 教授
岐阜県内の多くの自治体や通園施設で、発達相談員として、子どもたちや保護者の支援をされており、また、日本臨床発達心理士会東海支部長として、障害児心理学を専門にご活躍されています。

【研修内容】

今回の研修会では、「乳幼児期から小学校段階のライフサイクルを通じた発達障がい児への支援」という内容で、講話をしていただきました。

講話では、発達障がい児の「障がい特性」について詳しく説明していただきました。子どもの実態把握を的確に行うために、定型発達の子どもの発達の様相や順序を知ること、発達の観点から、支援を必要とする子どもの困り感や発達課題を探り、適切な支援を行うことが重要であるということ学びました。

今回の講話では、長年にわたる実践を基に、子どもたちの「発達の節目ごとにおける課題」を心理学の視点から、お話しをしていただきました。参加者一同、大変貴重な内容に興味深く聞き入っていました。研修会で教えていただいたことを子どもたちのために生かしていきたいと思えます。

